

住民対話討論会 余野川ダムについて

国土交通省
近畿地方整備局
猪名川総合開発工事事務所

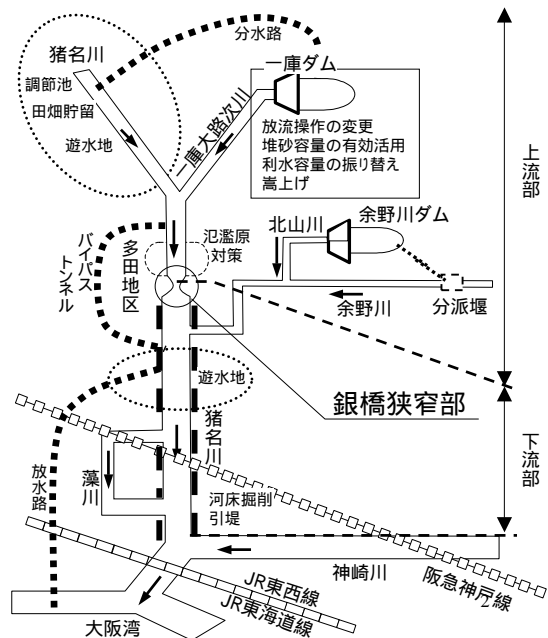
猪名川の浸水被害軽減対策案 調査・検討

狭窄部上流対策案

- ・貯留施設の活用
- ・田畑の貯留機能
- ・一庫ダムの放流操作の変更
- ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダムの利水容量の振り替え
- ・一庫ダムの高上げ
- ・分水路の設置
- ・新たな遊水地の設置
- ・氾濫原対策 等

猪名川下流部対策案

- ・河床掘削
- ・引堤
- ・一庫ダムの高上げ
- ・遊水地
- ・放水路
- ・余野川ダム 等



狭窄部上流の浸水被害の軽減対策

狭窄部上流の浸水被害を軽減するために考えられるあらゆる対策案について、各々の効果、事業費、事業工程、周辺自然環境および社会環境に及ぼす影響を検討し、本整備計画において実施可能な対策案を選定します。

また、上記ハードによる対策と同時にソフトによる対策も推進します。

対策案一覧

現在の施設を活用する方法

- ・貯留施設(調節池)
- ・森林の保水機能
- ・田畑の貯留機能



対策案一覧

既設ダムを有効利用する方法

- ・一庫ダムの放流操作の変更
- ・一庫ダムの予備放流
- ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダムの利水容量の振り替え
- ・一庫ダムの嵩上げ



5

対策案一覧

新たな施設で対応する方法

- ・バイパストンネル
 - ・分水路
 - ・新たな遊水地の設置
- その他の方法

ピロティ建築
(猪名川町・大陽猪名川自動車学校)



- ・氾濫原対策(土地誘導などのソフト対策)

6

狭窄部上流対策のまとめ

以上より、実施可能で有効な案を選定すると、以下の通りとなります。

- ・既存貯留施設の活用
- ・一庫ダムの放流操作の変更
- ・一庫ダムの堆砂容量の有効活用
- ・一庫ダムの利水容量の振り替え
- ・新たな遊水地の設置
- ・氾濫原対策(ソフト対策)

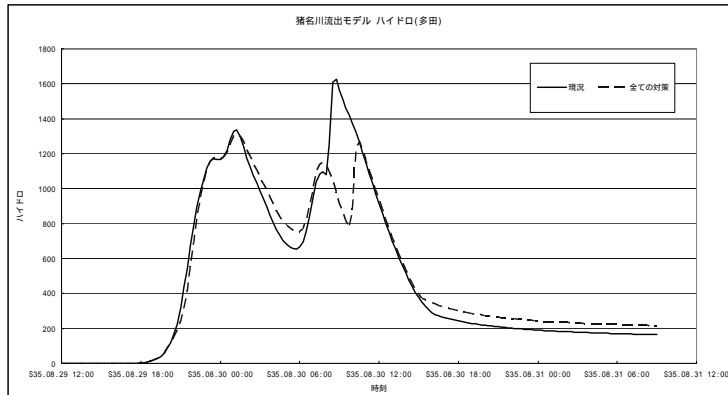
狭窄部上流対策のまとめ

・流量低減効果

対 策	多田地区 洪水ピーク流量 (m ³ /s)		
	現状	対策後	効果量
既存貯留施設の活用	1,335 1,630	1,320	15
		1,650	効果なし
一庫ダムの放流操作の変更		1,395	効果なし
		1,460	170
一庫ダムの堆砂容量の有効利用		1,335	効果なし
		1,565	65
一庫ダムの利水容量の振り替え (余野川ダム)		1,335	効果なし
		1,510	120
新たな遊水地の設置	1,280	55	
	1,645	効果なし	
氾濫原対策(ソフト対策)			

「貯留施設(調節池)」・「一庫ダム堆砂容量活用」・
「一庫ダム利水容量振替」・「一庫ダム放流操作変更」・
「遊水地」の対策を実施すると、多田地区のピーク流量は
約300m³/s低減されます。

多田地点ハイドログラフ



9

事業費および事業工程

各対策の施設整備に要する事業費および事業工程は以下の通りです。

対 策	事業費	事業工程	
		10年	20年
貯留施設(調節池)および遊水地	約80億円	〃	〃
一庫ダムの放流操作の変更		〃	〃
一庫ダムの堆砂容量の有効利用	約220億円	〃	〃
一庫ダムの利水容量の振り替え(余野川ダム)	*約240億円	〃	〃
氾濫原対策(ソフト対策)		〃	〃
事業費合計	約540億円		

*すでに使用した分を除くと約100億円

*余野川ダムは利水専用ダムと仮定。

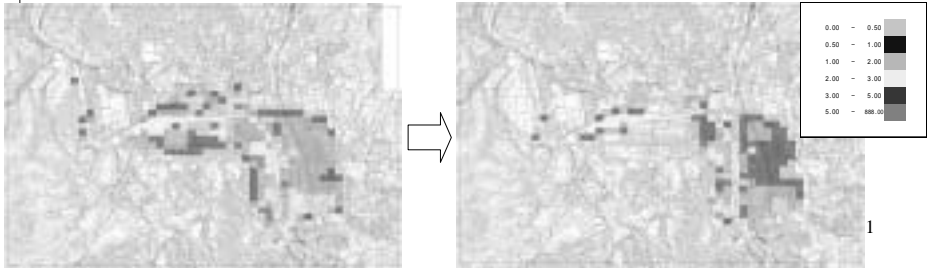
10

被害軽減効果

第21回流域委員会(H15.5.16)
資料3 - 2より抜粋

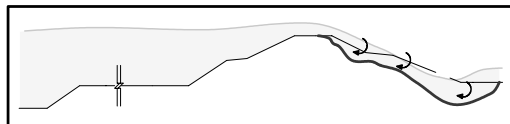
「貯留施設(調節池)」・「一庫ダム堆砂容量活用」・
「一庫ダム利水容量振替」・「一庫ダム放流操作変更」・
「遊水地」の対策を実施すると、多田地区の被害は

- ・被害額 : 約630億円 約290億円
- ・浸水戸数: 床上浸水家屋数 1,140戸 760戸
床下浸水家屋数 290戸 220戸

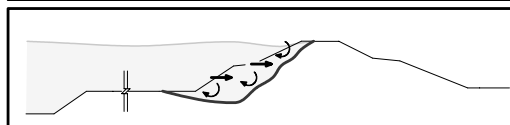


堤防強化の検討について

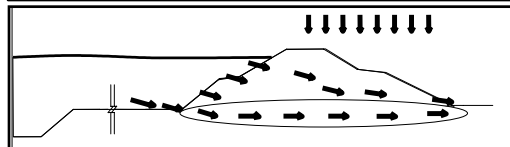
・越水



・洗掘



・浸透



- ・堤防補強することにより堤防が破堤しにくい構造を検討する。
- ・突然の破堤とならないため避難するための時間がかせげる。
- ・かならずしも完全に破堤を防ぐことはできない。
- ・沿川の土地利用など水害に強いまちづくり施策と一体的に整備が必要¹³。

余野川ダムの環境調査・検討

第21回流域委員会(H15.5.16)

資料3 - 3より抜粋



ダム事業地周辺の環境調査項目

- ・気象、水質等の経年的継続調査の実施
- ・動植物の補足調査の実施
- ・現況河道状況調査の実施
- ・大気等環境調査の実施

考えられる環境への影響と軽減策の検討項目

- ・生態系や動植物
- ・貯水池や下流河川の水質
- ・土砂移動の連続性
- ・ダム下流の流況(攪乱機能)
- ・周辺の景観
- ・工事の実施による騒音・振動・大気汚染等

第21回流域委員会(H15.5.16)

資料3 - 3より抜粋

項目	S														H													
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
自然的状況	降水量													*	*	*	*	*										
	気温													*	*	*	*	*										
	流況																											
	風向・風速																											
環境の現況	水質													*	*	*	*	*	*									
	大気質・気象																	**	**									
	騒音等																		**	**								
	振動													**				**	**									
	陸上植物	*					*		*		*				*	*	*	*	*									
	水生植物等							*							*			*										
	哺乳類						*							*	*	*	*	*										
	鳥類						*							*			*	*	*									
	両生・爬虫類						*							*			*	*										
	魚類						*		*						*			*										
	昆虫类等						*							*	*	*	*	*										
	景観														*													

(注1) 表中において、「」印は現地調査の実施時期、「*」印は文献・資料における調査時期

(注2) 表中において、「**」印は大阪府が実施したもの